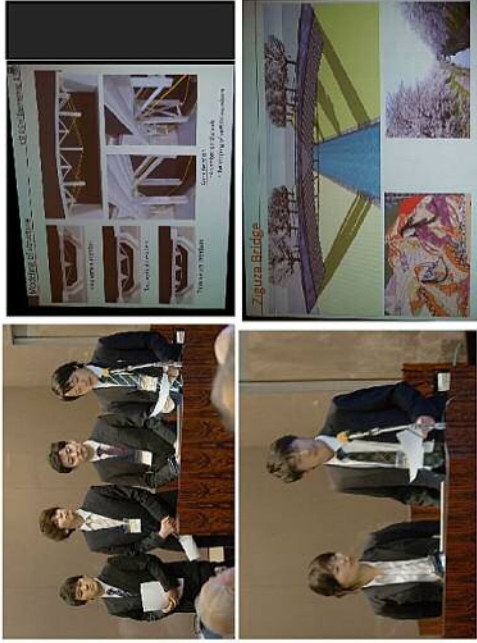


IABSE Conference Elegance in Structure Young Engineer Workshop 2015

2015年5月12日、鋼構造を中心とした構造の国際会議の団体であるIABSE(International Association for Bridge and Structural Engineering)が奈良で開催された。この国際会議で、Young Engineer Workshopが開催され、関係者から2チームが応募した。すべて英語でやり取りされる中、果敢にも英語で説明した。デビュウ戦としては、かなりの成績を取め、質疑応答では、助っ人エルカ(モンゴル出身)も登場し、事なきを得た。惜しくも受賞を逃したものの、大工学生チームは、京大と日大だけ。日大工土木の底力を国内外にアピールできた。 Nice Try!



ARUP社L.A.支社から藤倉修一氏来日



関先生デザインの白糸の滝展望台完成

白糸の滝と富士山を一望できる白糸の滝展望台が完成した。展望台から下を見下ろすと、ダイナミックな白糸の滝と富士山を同時にみることができ、貴重な見どころが、旧展望台がオーバーハングしている岩の上に設置されていることから、安全性に配慮して新たな位置に設置されたもの。張り出した造形から生まれる緊張感のある展望台は、コンクリート構造物として魅力あるものとなっている。



滝見橋の橋守休参加メンバーと終了した解放感に浸るメンバー



滝見橋の橋守休参加メンバーと終了した解放感に浸るメンバー

滝見橋橋守登場 社会貢献と橋梁のメンテナンスを考える課外授業

2015年のバスマツアーは、5月24日滝見橋の橋守隊プロジェクトとなった。ゼミ生・卒研究生・院生の他1年生有志も加え、約30名で橋の清掃に出かけた。橋の維持管理の研究、汚れた付着の研究、橋体内のゲージ計測、緑化工法など様々な研究テーマを持ち寄りながら滝見橋で実施した。



平成 27 年 5 月 25 日 (月) 静岡新聞 (県内総合)

富士山
 多岐世界遺産
 世界遺産富士山の崩壊危険のついで、富士山が崩壊する恐れがある。崩壊した場合、富士山は、約1.5億年かけて形成された。崩壊した場合、富士山は、約1.5億年かけて形成された。崩壊した場合、富士山は、約1.5億年かけて形成された。

白糸ノ滝で「橋守」活動
 学生日大理工学部学生30人
 橋守は、橋の維持管理を行う。橋の維持管理は、橋の寿命を延ばす。橋の維持管理は、橋の寿命を延ばす。

平成 27 年 5 月 27 日 (水) 岳南朝日新聞

「滝見橋」をきれいに
 工大土木科学生が清掃
 完成当初の美しさに戻し
 日本大学理工学部土木系に所属する約30人の学生が、5月24日、富士山の麓、白糸の滝見橋の清掃活動を行った。学生たちは、橋の橋脚や橋桁の汚れを清掃し、橋の美しさを回復させた。



滝見橋の橋守休参加メンバー(1年生有志+3年生ゼミ生+4年生+院生)

ARUP社L.A.支社から藤倉修一氏来日

6月30日世界最大の構造コンサルタンタムARUP社のL.A.支社から藤倉修一氏が来日し、構造デザインの魅力と渡米生活を講演してくれた。藤倉氏は、東工大大学院卒業後、大成建設に入社し、土木設計部時代に関先生と同じ部に配属される。橋梁設計室で橋の設計技術や施工技術を学んだ後、単身NY州立大学で博士を取得後、ARUP社L.A.支社に勤務している。パネルディスカッションでは、ARUP社HongKong支社に出向していた山崎啓治氏(1994年修士修了OB)と関先生が加わり、海外で働く体験と魅力についてディスカッションした。



左：山崎啓治氏 右：藤倉修一氏

日大構造の会開催

5月18日日大構造の会(代表：森正忠氏)と土木学科共催で、構造の会が開催されました。現役のコンクリートエンジニア、建設会社のエンジニアが、構造を扱う仕事の体験と魅力を語りました。登壇者は、栗津雅樹氏(株)CPC、高岡怜氏(三井住友建設株)、村田晶氏(コスモ技研株)に司会関先生でした。



新東名富士川橋梁を背景に